

すいた環境サポーター養成講座 第 10 回目

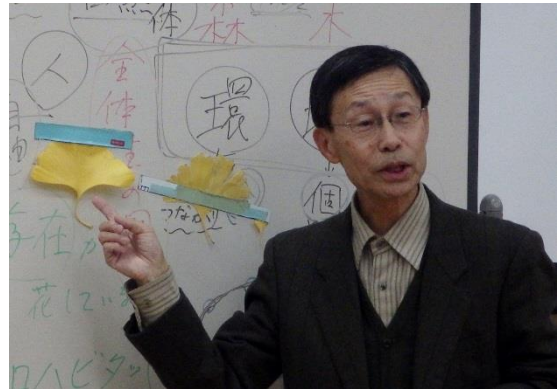
日時：12/6(木)18：30～20：30

場所：千里市民センター8階 多目的ルーム（2）

◆講義「自然観察から学ぶ共生社会」

担当：京都光華女子大学こども教育学部 教授 菅井 啓之氏

現在、多様な分野において共生がテーマになっています。欧米の価値観に基づき「ギブ&テイク」から「ウィン・ウインの関係」に展開させるコラボレーション型の共生が一般的に主流となっています。しかしながら、日本においても古来より「和の精神」と呼ばれ、日本人の自然観に基づく考えとして、「和敬清寂」と呼ばれる自然と一体化したあり方（考え方）があります。これに「愛」を加えた五要素が日本の自然観の柱となり、「ともに生きる事」を通じて培われる「いのち(環境)への自覚」を知ることが大切です。講義の初めに講師に用意していただいた様々な微小貝、それは虫メガネがないと分からないぐらい小さい貝です。その貝を教材として「和敬清寂愛」について学び、共生社会とは何かを楽しみながら学びました。



◆市内団体の取組概説と質疑等 2

吹田市内で活動する以下の団体が取組を発表、受講者からの質問に答えてくださいました。



アジェンダ 21 すいた



すいた体験活動クラブ



竹林友の会

◆ふりかえり

第 10 回目も、個人でのふりかえり、グループでのふりかえりをして、終了しました。